



## 大幅な賃上げで労働者の生活を守ろう！

### 国労九州本部拡大委員会開催

2月4日TKP博多駅東会議室において、国労九州本部拡大委員会を開催し、その前段に労働講座を開催しました。委員会には、来賓として、国労議員団・伊藤一之幹事長から、先の唐津市議選の御礼を兼ねて挨拶があり、本部からは、岩元書記長より、情勢報告と問題提起を受けました。

#### 委員長挨拶

何点かについて挨拶したい。  
①25春闘について  
昨年は新賃金制度改正で、2〜3万の賃上げがあったが、ベアは無く、他産別の格差は広がっている。夏季手当につ



九州本部 千々岩委員長

いても2、5カ月と一般的に回答であった。四半期決算では407億円の利益があり全てが増収増益となっており通期でも増益が予想されている。また、4月からは運賃改正を行い、運賃15%、定期で30%として大きな収入となる。会社は、様々の所に投資をするとしているが、社員にどれだけの還元をするのか問われている。しかしコロナ前と比べて完全に戻っていないと繰り返し、社員に還元しないやり方では会社の未来はないと言え。今年も労働条件改善署名を取り組み、ベア17000円+夏季手当3、2カ月+物価上昇分10万円を勝ち取るため頑張りたい。また春闘集会は3月7日を予定しているのをお願いしたい。

②組織強化拡大について  
中々拡大が出来ていないが、職場ではまだ、卵が眠っているのではないかと懸念化させるかにかかっている。今後の行動は、労働条件改善署名を皮切りに新入社員行動やレクレーション等を取り組み運動を強化していきたい。また本部のツナグを全員が活用していくこと。若い力、国労九州ニュース・交渉情報を活用して組織拡大運動の強化をお願いしたい。

③安全安定輸送について  
高速船隠蔽問題は、社員にも驚きを与えた。また貨物の輪軸データ改善、川内駅構内の脱線事故なども大きな問題となった。社長は、安全をゼロベースから考えようとしているが、国交省をはじめ、利用者からもJR九州への評価はマイナスとなっている。社長緊急メッセージでは36協定違反や労基法違反が17件もあるとしているように、本当にこの会社は大丈夫かと感じたと思う。ダイヤ改正での宮崎地区車掌廃止を含め、合理化施策を見直し、安全を担保できるものから提案し進めていく事が安全安心につながると思う。

④平和の問題について  
世界各地で戦争がおこり核による恐怖が広がる中、日本被団協がノーベル平和賞を受

#### <労働講座>

九州交運労協 高田事務局長より、交運労協の組織現状や取り巻く情勢について、また25春闘の取り組みなど報告を受け学習しました。

今年の春闘決起集会については、これまでコロナ過で中止をしていましたが、現在検討中であると報告がありました。



賞し、核に対する世界的な関心が示された。国労中央被団協と共に広島・長崎の取り組みを強化するために、4月被爆80年視察学習会を長崎地区で開催することにしていく。自民党裏金問題は、何ら解決されていない。東京都議、参議院選挙の年、政権交代の絶好のチャンスと捉え、野党の統一で立憲主義を取り戻すために全力を尽くしたい。

# 委員会発言



鹿児島 黒木委員

ダイヤ改正とローカル線問題について発言したい。宮崎地区の4両ワンマン導入が重要な問題として取り組みを進めてきた。ダイヤ改正要求基本7項目(宮崎4、鹿児島3)職場環境4項目で交渉を行った。ワンマン導入の根拠を数値的に示すように迫ったが、会社は明らかにしない、今までと変わらない姿勢であった。車掌廃止は施策でないの協議はできないとしていたが、九州本部の尽力で、宮崎支社募集増・鹿児島支社の追加募集・退職は会社都合退職に・慰労金の満額支給を・折衝という形ですることができた。会社の頑固な態度は変わらず折衝の限界を感じた。

ローカル線問題は、昨年11月社長が日南線の意向を表明し、その一週間後担当者が来て挨拶をおこなっている日程など具体的な調整はなかつ

と報道されているが、指宿枕崎線に続き日南線も準備をしているという事であり、今後の我々の取り組み強化が求められている。中期経営計画が今年で終わり、新たな計画が出され、今後進められる車掌の廃止等の合理化やローカル線の廃止などの動向を見ると2030年に向けて大幅な合理化・人員削減が来ると危惧している。今後の状況と協議の限界等を考えると労働組合として雇用確保・労働条件確保の観点から、労組法に基づく「団体交渉」の取り組みについて検討する時期が来るのではないかと感じる。



博多 久本委員

博多地区本部佐賀分会は、高齢化より全員が嘱託社員となり中々活動が困難となっている。年度末を迎え、特休がはけそうにない運転士に対して、特休日に超勤で乗務させられている。(多い人は月に4回程度)この状態が続く年休も当然消化できない人手不足が、

続いている。今回のダイヤ改正により、30分のマル転扱いが発生する。佐賀駅では14本のマル転扱いが出てくるが、佐賀駅では、多くの乗客が待っており、マル転扱いで乗客を乗せないとすると、混乱やトラブルのもととなる。バルーンや唐津くんちの祭りもあり、トラブル発生を危惧している。

春闘では、物価高騰により賃金が追い付いていない。嘱託社員は低賃金の為生活するのがやっとの状態である。特に遠距離通勤者はガソリンの高騰により死活問題となっている。今春闘でベアの大幅賃金獲得を頑張る決意である。



博多 岩田委員

香椎線に乗務し自動運転をしているが、規定改正でデバイスが誤作動し両数間違いが発生した場合、指令に連絡し最後部まで行って確認して、ドアを開けるといふものである。最近、4両ワンマンで誤作動があったが、乗客は満員

でホームもいっぱいの状態で後部まで移動してドアを開けたが、乗客から早くドアを開けると罵声を浴びせられたとの話であった。この規定改正について、改善することができないのか。本来は、きちんとGPSの機能を高め、整備してから改正をすべきである。また、過日、置石の関係で停車した運転士が、区間間違いを報告した事象があったが、乗務停止が2週間も続いていた。長すぎる乗務停止に問題があったのではないか。



北九州 島山委員

年休問題について。門司車掌区・小倉運転区では、慢性的に年休が取れない状況が続いている。会社は必要な要員は配置しているとの回答を繰り返しているが、年休が一番でも取れない日がある。休みたい日には特休をあてる。この状態で要員が足りていると言え

のか。ダイヤ改正では要員減とせず年休取得のための人員配置を求める。嘱託社員の待遇改善について、他労組からも強い要望がある。60才からの単日制を選択できるように改善して欲しい。高卒の初任給並みの賃金で仕事と責任は同じ。賃金を上げるか、作業内容や密度を軽くすること求める。

春闘について、物価は上がり続けて実質賃金目減りしている。今春闘では、国労要求は譲る事の出来ない額だ。満額獲得に向けて奮闘しよう。



博多 福田委員

博多車掌区では、昨年11月に門司車掌区へ事前通知により3名が転勤させられた。長い期間職場に在籍し、一度も転動がないとの理由だけで、住居や家族構成を配慮していない不当なものであった。苦情処理委員会にかけても覆すことが出来ず泣く泣く転勤となった。それ以降、香椎線の自動運転操縦車への研修を断



西九州新幹線が開業し、在来線が全てワンマン化されて2年が経過した。長崎線・大村線では3・4両編成の列車でホームにドアがかかっている状態がドアが開く事象が3件発生した。一歩間違えれば、広木駅同様に鉄道人身事



長崎 宇都宮委員

っていた社員も、転勤を恐れ応募せざるを得ない状況となっている。会社施策に応じない社員への威嚇であると思う。現在は大分への転勤を探す声かけが行われており、職場で動揺が広がっている。また、低賃金の為、若い社員が超勤による車内改札や博多駅での案内業務を行っているが、これで適切な休養が取れるのか問題がある。超勤をせざるも安心して生活できるような賃金体系にしていく必要がある。今春闘では、職場の声を聴き交流を行い、署名活動を通じて分会活動を強化していきたい。内容については後日報告し今後の交渉に活かしてほしい。

故つながらる内容であった。職場から、停目の統一を求める声があがり、現場長・支社長に対し要求を続けている。徐々ではあるが国労の要求の実現が出てきている。

保線職場では、保守・点検の一部が関連会社に業務委託され、受け持ち線区と要員が縮小される。関連会社では、要員を増やすことはせず、点検漏れや自然災害時の運転再開の遅れが懸念される。

10月より佐世保線がICカード利用区間となったが、「自車」扱いのまま変わっていない。「全車」扱いにすべきだ。長崎線の上下分離区間においては全てにおいて改善が必要である。券売機の設置駅が少ない。券売機があっても新札対応していない。運行する気動車は冷房の利きが悪く故障も多い。通学時間帯2両編成で大変混雑する等、沿線自治体からも改善要望が出ている。

春闘について 物価高騰に賃金が追い付いていない。国労要求満額獲得の為に長崎から頑張りたい。

# 書記長集約



九州本部 西山書記長

ツナグの取り組みについて 活用を含めて再度お願いしたい。また署名行動を通じて、若い人に一声かけて話をしながら取り組んで欲しい。そこから繋がりが出来てくる。今後も学習することについて継続していきたい。諦めたら労働組合は衰退すると考える。

組織の現状については、大変厳しい現状にあることは皆さんも承知だと思う。このまま拡大できなければ、組織的には先細りするだけだ。地区本部の現状も厳しいと発言があった。組織の見直しは、もうできなくなったからではなく、組織形態をかえても、やれることは引き続きやると思う。是非各地区本部でやることから取り組みをお願いしたい。

組織の現状については、大変厳しい現状にあることは皆さんも承知だと思う。このまま拡大できなければ、組織的には先細りするだけだ。地区本部の現状も厳しいと発言があった。組織の見直しは、もうできなくなったからではなく、組織形態をかえても、やれることは引き続きやると思う。是非各地区本部でやることから取り組みをお願いしたい。

ダイヤ改正の問題や職場の問題等を出し合う学習会を是非計画して頂き、要請があれば九州本部も参加していきたい。

相次ぐ合理化により無人駅の増大やワンマン運転拡大により、安全安定輸送が脅かされている。ワンマン運転ではサービスマシンの不具合が相次ぎ、本数・両数削減で積み残しも続発し利用者からも不満の声が数多く出されている。また高速船での社長の指示による隠ぺいが発覚し、前代未聞の問題となり会社の信用が大きく損なわれている。若手の離職傾向があるがコロナ過よりは収まっているが、依然高止まりの状況が続いている。保線職場では、3月に2人が退職し、東日本と西日本に行くとのことであった。賃金の高い所に流れていっているのが現状であり、若い人はJR九州に魅力を感じていない。そのためにも、25春闘については、国労要求6・1%・17,000円、夏季手当3・2ヵ月+一時金10万円獲得にむけて全力を上げていく。

獲得出来る状況は十分にある。会社は高速船問題では、先の交渉で現時点の損失

は20億円と回答したが、決算に影響は全くないと回答しているように、それだけの体力はある。満額獲得に向け頑張りたい。

闘争方針を基に春闘勝利・組織拡大・労働条件改善・安全安定輸送の確保・地方ローカル線維持に向けて一致団結して取り組み、その先頭にたつて奮闘すること表明し集約としたい。

**がん保険にできることを、もっと。**

**NEW 「生きる」を創るがん保険 WINGS**

**1 幅広い保障を 経済的負担をサポート**

治療前の検査から治療後の外注ケアまで幅広い保障をしっかり備えることができます。

**No.1** アフラックのよりそうがん相談サポート

付帯サービスにアフラックのよりそうがん相談サポート

アフラックのよりそうがん相談サポーターがさまざまな悩みの解決をサポート

アフラック 東京第二法人営業部 東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19階 TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885

は20億円と回答したが、決算に影響は全くないと回答しているように、それだけの体力はある。満額獲得に向け頑張りたい。

闘争方針を基に春闘勝利・組織拡大・労働条件改善・安全安定輸送の確保・地方ローカル線維持に向けて一致団結して取り組み、その先頭にたつて奮闘すること表明し集約としたい。